

TaKeFu SSH NEWS



福井県立武生高等学校
SSH 研究推進部
2025年12月10日発行

SSH NEWS No.15

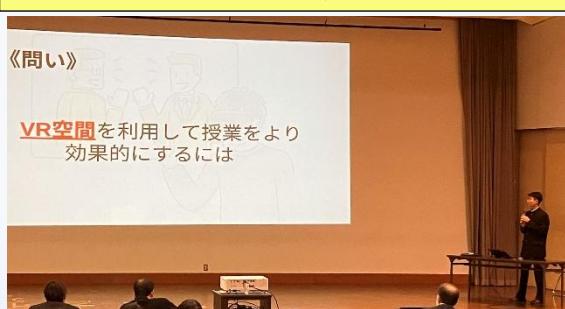
15 1年探究進学科 夏季課題研究発表会

12月8日(月)、夏季休業中に研究したテーマについて、各クラス代表の12名が口頭発表を行いました。仁愛大学・西出和彦教授、福井大学・遠藤貴廣准教授を審査員としてお招きし、発表後にはご講評をいただきました。生徒たちは、これまでに「探究基礎」の授業で学んだことを活かし、分かりやすく発表することができました。しかし、研究内容についてはまだまだ改善するべきことがあり、先行研究との違いを明確にすべきだという改善点も見つかりました。今回の研究・発表で学んだことは、来年から文理別に実施するグループ研究活動に活かしていきます。

以下は審査結果および発表の様子です。

最優秀賞

「教育における先端技術の活用法について」
1組 佐藤 翔太



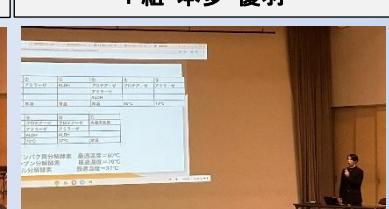
優秀賞

「音楽と集中力について」
1組 向井 零音



優秀賞

「ソース汚れに最も効果のある酵素とその条件はなにか？」
1組 本多 優羽



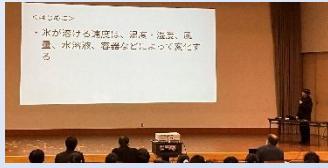
敢闘賞

「高校生の医療AIに対する認知度・受容度はどれほどか」
1組 石田 万桜



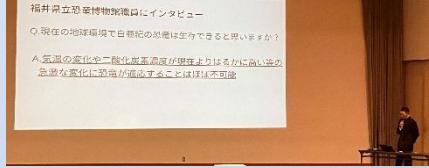
敢闘賞

「氷が溶けやすいのはどんな条件か」
2組 横田 済海



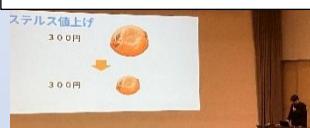
生徒審査賞

「白亜紀の恐竜は現在の地球環境で生存できるのか」
2組 内田 大翔

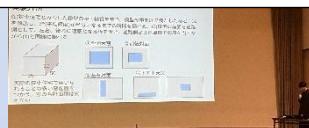


惜しくも入賞とはなりませんでしたが、各クラスを代表して、入賞者を合わせて合計12名の生徒が口頭発表を行いました。

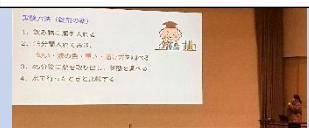
「高校生はお菓子のストレス値上げをどう感じているのか」
1組 戸田 佳伸



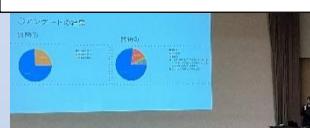
「窓の形と換気効率の変化」
1組 堀 瑞穂



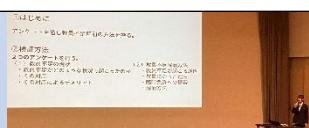
「水と同様の薬の効果が期待できる飲み物はなにか？」
2組 森下 愛海



「企業に対してSDGsに関する取組みを試みる事例はあるのか」
2組 河村 朋実



「教員不足はどうしたら改善されるのか」
2組 山本 涼華



「子供にとって飲みやすい薬の形状はどれか」
2組 石本 サヨ

